

キャンパスで
学生向けの特別セミナーを
開催しませんか？



Adobe Campus Dayとは

アドビの講師がお伺いして開催する、学生向けセミナーです。教職員の方もぜひご同席ください。
(教員のみ対象のセミナーは別途ご相談ください)

- Adobe Creative Suite 製品の機能、便利な使い方、業界での使用事例をご紹介します。
- 教育機関様に直接お伺いし、学校の教室、講堂等で開催できます。
- 講義形式のセミナーです(実習機材は必要ありません)。
- 学生のニーズやレベルに応じた内容をお選び頂けます。

2008～2009年開催実績
開催数 116回 参加学生数 約8,000名

セミナーの種類

※各内容の基本構成は90分間

1. Creative Suite 総合紹介編

様々なメディアでのデザインツールの活用事例と概要を
まとめて解説(新入生/ビギナー向け)

2. Design編 - Photoshop & Illustrator を中心にデザイン ツールの事例と基本機能

3. Video編 - 映像制作ツールの基本と制作の手順

4. Web編 - 最新のWebメディアの特性とソフトウェアの 活用

5. ポートフォリオ編

効果的なポートフォリオのための画像編集とレイアウト(高年次生、就職
希望学生におすすめ)

6. ポートフォリオ Fine Art編

作品のデジタル化からレイアウトまで、様々な形態の作品をポートフォリ
オに(高年次生、就職希望学生におすすめ)

7. コミュニケーションの変化 - RIA & Flash Platform編

Flashベースの技術が革新する最新の表現と技術を解説

*1～3と6のセミナーではワコムペンタブレットもご紹介します。

セミナー内容の詳細は裏面をご覧ください

Adobe Campus Dayを開催するには

1. お申し込み

アドビ担当者、または販売
会社担当者にご連絡くださ
い。^{*1}

2. ヒアリング

ご希望の内容、日程、対象
者、予定会場などについて
お伺いします。^{*2}

3. 開催要項の 確認

アドビにて講師を手配し、
日程を決定します。当日の
スケジュール、会場設備、
資料手配等を相互に確認
します。^{*3}

4. 告知

告知掲示用のポスター、フ
ライヤーのデータをPDFで
ご提供します。印刷して学
内での掲示、配布にご協力
ください。^{*4}

5. 開催当日

開始前に、30分ほどの機器
設置、接続など準備時間を
頂きます。画面/音声出力、
ネットワーク接続などの
設定にご協力ください。^{*5}

*1 お申し込みには、CLPおよび指定校学生向けライセンスプログラムをご契約の上、運用いただくことが必要です。

*2 最低50名以上の参加必須でお願いしております(小規模開催、教員向け勉強会などについてはご相談ください)。セミナーは90分を想定していますが、調整も可能です。定期的なカリキュラムへの編成はご遠慮願いますが、授業時間での開催も可能です。

*3 PC、タブレットなどの機材、ソフトウェアは講師が持参します。会場には、プロジェクタ等の映像出力、音声(PC音源とマイク)出力環境、インターネット接続をご準備下さい。

*4 教職員から直接、学生の皆様にセミナー開催の告知を頂けるようお願いいたします。

*5 当日は、ご担当の先生のご同席をお願いします。当日、講師がお伺いする場所とご担当を事前にお知らせください。

セミナーの内容

1. Creative Suite 総合紹介編

—「どんなソフト?」「何に使うの?」を一挙に解説

Adobe Creative Suiteはデザイン、Web、映像と幅広い業界で標準ツールとして活用されています。Creative Suite4に含まれる各製品の特徴や機能を、最新の活用事例とともにご紹介します。アドビのツールでどのようなことが実現できるのか、チラシや雑誌、プロダクトデザインや映像作品などの具体的な事例とともにご覧いただけますので、目的や表現方法、媒体によって最適なソフトウェアを選ぶ参考にもなります。

新入生/これからアドビ製品を使い始める方に最適です

主に使用するアプリケーション： Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Flash Professional、Adobe After Effects、Adobe Flash Catalyst



ペンタブレットの効果的な活用方法をご紹介します。



2. デザイン編 – 基本のPhotoshop&Illustratorをしっかりと理解

デザインの現場では必携のPhotoshop、Illustratorを中心に、主な製品の特徴、使い方、テクニックなどを分かりやすく解説します。デジタルでデザインを行うための基礎知識から、最新機能を使いこなすポイントまで、学校での課題制作にもすぐに役立つ内容で構成されています。第一線で活躍するプロの活用事例もご紹介するので、スキルアップと同時に、クリエイターを目指す学生にとっては目標を具体化する機会にもなります。

アドビ製品の使用予定がある、または使用経験がある学生におすすめ

主に使用するアプリケーション： Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Flash Professional、Adobe Bridge



ペンタブレットの効果的な活用方法をご紹介します。



3. Video編 – 映像で広がる表現の可能性

映画やCM、Webの動画コンテンツなど、映像を楽しむ環境は多様化し、同時に、映像表現を発信する機会も身近になってきています。伝えたい内容を映像で表現することで、文章や静止画にはないインパクトのあるコミュニケーションが生まれます。このセミナーでは、最新の映像コンテンツの活用事例、制作過程や表現手法、作品をWebやモバイルなど様々なメディアに発信する方法についても解説します。思い描いたシーンや動きのある表現を、映像で伝えてみませんか?

Photoshop/Illustratorの使用経験があるとわかりやすい内容です

主に使用するアプリケーション： Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe After Effects、Adobe Premiere Pro



ペンタブレットの効果的な活用方法をご紹介します。



4. Web編 – より自由にスピーディに、Webで発信

今日の情報発信には欠かせないWebメディアでのコンテンツ制作の方法を、最先端の事例とともにご紹介します。

Webメディアの特性を理解し、最新技術をサポートしたツールを活用することで、サークル活動やイベント、学術情報の共有、研究成果の発表など学生生活のさまざまなシーンで、Webコミュニケーションをもっと自由に活用できるようになります。

製品の使用予定がある、または使用経験がある学生におすすめです

主に使用するアプリケーション： Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Fireworks、Adobe Dreamweaver、Adobe Flash Professional、Adobe AIR



5. ポートフォリオ編 – 作品の良さと成果をきちんとアピール!

デザインや表現を学ぶ学生にとって、自分の作品や成果物をまとめたポートフォリオ制作は、就職等の機会に必須のスキルです。

作品の魅力がきちんと「伝わる」資料を作るための撮影のポイント、画像編集での仕上げの方法から、作品の整理、複数ページのドキュメントとしてレイアウトする手順まで、ポートフォリオ全体を効率的にかつ見栄えよくデザインするテクニックをご紹介します。

卒業や就職活動を控えた学生に最適のセミナーです

主に使用するアプリケーション： Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Flash Professional、Adobe Acrobat



6. ポートフォリオ Fine Art編 – 作品をデジタル化して「伝わる」資料に

就職や進路検討の際に、絵画や彫刻をはじめ実体で制作した作品を成果として提示するには工夫が必要です。

多様な形態の作品をポートフォリオとして見やすくまとめるために、デジタル化の様々な方法、作品の魅力を損なわない為の画像の編集方法、効率よいレイアウトの方法をご紹介します。

デジタルでの制作に慣れていない学生向けに、デジタル画像の特性や扱い方など、ポートフォリオ編集に必要な基礎知識も押さえた実用的な内容です。

卒業や就職活動を控えた学生に最適のセミナーです

デジタル制作の経験がない学生(立体、絵画等)向けの内容を含みます

主に使用するアプリケーション： Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Flash Professional、Adobe Acrobat



ペンタブレットの効果的な活用方法をご紹介します。



7. コミュニケーションの変化 – RIA & Flash Platform編

今日、技術の進歩によってコミュニケーションの方法が多様化するなかで、様々なメディアを駆使して情報をデザインするスキルが求められています。

Flash、Flex、Adobe AIRなどを含むAdobe Flash Platformは、Webを中心としたメディアでの表現の可能性を高め、ユーザーにより豊かな体験を提供するコンテンツ制作を実現します。

最新の事例をもとに、FlashテクノロジーとRIAの可能性、開発方法についてご紹介します。

デザイン、アート、プログラミング、広告など様々な専門領域の学生におすすめです

主に使用するアプリケーション： Adobe Flash Professional、Adobe AIR、Adobe Flash Builder、Adobe Flash Catalyst

